

平成 30 年度 出前懇談会 会議録			
地 区	五馬 地 区	市長・副市長の出席	市長・副市長
日 時	平成 30 年 8 月 29 日 (水) 19:30～21:00	場 所	天瀬公民館五馬分館
地 区 参加者	森高本城自治会長（地区理事） 、 小野出口自治会長、 松本五馬市西自治会長、 山本五馬市東自治会長		計 35 名
担 当 グ ル ー プ	リーダー	永瀬 商工観光部長	副リーダー 坂本 土木課長
	プレゼン テーター	藤原 天瀬振興局長 矢幡 税務課長	連絡調整担当 藤原 天瀬振興局長
	書 記	池内 給食センター所長、 穴井 清掃センター所長	
	構成員	松岡 こども未来課長	
	その他		
議 題	テ ー マ		説 明 者
	1. 「防災・減災の取組」～それぞれの取組～		矢幡 税務課長
	2. 「土砂災害警戒区域」とは、		藤原 天瀬振興局長

1. 「防災・減災の取組」～それぞれの取組～
2. 「土砂災害警戒区域」とは、

(意見)

- ・ ひと防災メールの登録を、携帯電話メーカーに協力依頼したらどうか。

(回答)

- ・ 携帯電話メーカーへの依頼は難しい。個々で登録をお願いしたい。
- ・ 衛星から直接情報が入って来る防災無線ラジオの各家庭への配付を検討している。  
予算額は6・7億円程度必要となる。

(意見)

- ・ 避難訓練には必ず防災グッズを持参するよう徹底した。その時に初めて中身の確認ができてよかった。

(回答)

- ・防災グッズの配布は、天瀬地区のみであるが、日頃の訓練から準備しておかないといざと言う時に忘れるので必ず持参して欲しい。

(意見)

- ・神戸の大震災の時に避難所で、緊張等で母乳が出なくなったお母さんが困っていた。避難所に粉ミルクを準備して欲しい。

(回答)

- ・防災倉庫には、粉ミルクなど緊急時必要な物は準備している。また、大規模災害時は、県が県医師会、県薬剤師会と協定を結び対応しています。なお、小規模な災害時の対応として、市と市医師会で協定を締結する予定です。(締結予定日：平成30年12月18日(火))

(意見)

- ・天瀬地区は広いので、避難指示を地区ごとに出して欲しい。
- ・大山川にライブカメラを設置して欲しい。

(回答)

- ・避難指示のエリアを再確認して対応したい。
- ・ライブカメラは無いが、国土交通省筑後川河川事務所のホームページで、「雨量・水位リアルタイム情報」で、確認してほしい。

(意見)

- ・五馬地区は、別府一万年山断層帯の近くで熊本地震の時に家屋が壊れた。大雨による災害のみならず、地震での災害が懸念される。

(回答)

- ・地震は予知が難しい、地震が発生したら速やかに防災メール等で情報を発信したい。
- ・熊本地震の時に簡水の水源が濁り皆さんに大変ご迷惑をおかけした。対策として濾過器を準備したので、急場はしのげると思う。